

算数さえ十分に分からなかった子が 進学校（伊勢高）で学年トップに

S君は地元の公立中学に入学と同時に青木塾に入塾しました。下の資料は入塾時に彼に受けてもらった基礎学力テストの結果ですが、ご覧いただければ分かるように、単なる計算ミスではなく、四則計算の計算ルールそのものが十分に理解できていないことが疑われるような結果でした。通例、中学入学時にこのレベルの学力だと、中学の勉強にはついていけない可能性が高いと言えます。ましてや高校の勉強が分かるようになるなんて、普通だったら考えられません。今回は、そんなS君がその後どんなふうに成長して行ったか、それを紹介したいと思います。

2004年度 基礎学力テスト 住所: 電話番号: 名前: 

① 次の計算をせよ。

(1) $73 \times 58 = 4234$

(2) $1554 \div 42 = 37$

(3) $5 \times 6 + 8 \div 4 = 32$

(4) $72 \div (13 - 7) \times 5 = 1.2$ X

(5) $(2 - 0.2 \times 7) \div 4 = 315$ X

(6) $(3.4 \times 4 - 12.3) \div 2.6 = 0.5$ X

(7) $(5.2 \div 0.8 + 14.7) \times 0.75 = 249$ X

(8) $(4 - 3.86) \times (6.13 + 0.37) = 0.9$ X

(9) $\frac{3}{8} \div (\frac{1}{4} + \frac{5}{12} \times 3) = \frac{3}{16}$ X

(10) $(2 - \frac{7}{18} \times \frac{9}{14}) \times 2\frac{2}{7} = \frac{2}{7}$ X

(11) $\frac{2}{5} + 2\frac{1}{10} = \frac{1}{2}$ X

(12) $\frac{13}{8} + 1\frac{7}{12} = \frac{24}{30}$ X

(13) $2\frac{1}{6} + 1\frac{13}{15} = \frac{12}{30}$ X

(14) $16 - (0.39 + 5.9) = 9.11$ X

(15) $4.72 + (28.1 - 9.56) = 23.26$ X

(16) $50.3 - (31.01 - 7.08) = 26.37$ X

**四則演算の計算ルール
がしっかり理解
できていない。**

② 次の数を小さい方から順に並べよ。

(1) $\frac{4}{5}, 0.76, \frac{3}{4}, \frac{3}{100}, \frac{12}{100}, \frac{13}{10}, \frac{13}{8} = \frac{51317}{3810}$

③ 次の組の分数を通分して大きさを比べよ。

(1) $(\frac{3}{4}, \frac{2}{3}, \frac{5}{6})$ $\frac{9}{12}, \frac{8}{12}, \frac{10}{12}$ (2) $(\frac{11}{12}, \frac{5}{6}, \frac{8}{9})$ $\frac{33}{36}, \frac{30}{36}, \frac{32}{36}$

④ 次の計算をせよ。ただし、商は小数第1位まで求め、余りも求めよ。

(1) $25.1 \div 3.7 = 6.7$ (2) $0.74 \div 4.7 = 0.15$

(3) $14.5 \div 2.6 = 5.5$ (4) $0.55 \div 2.3 = 0.23$

⑤ 次の計算をせよ。

(1) $52 - 9 \times 2 + 3 \times 4 = 22$ (2) $6 + 4 \times 2 - 42 \div 6 = 13$

(3) $72 \div 12 \times 4 - 7 \times 2 = 3$ (4) $62 - 16 \times 4 \div 32 = 60$

⑥ 1個210円のリんごを4個と、1個120円のみかんを6個買い、2000円はらった。このとき、おつりは何円か。1つの式に表してから求めよ。

$2000 - (210 \times 4 + 120 \times 6) = 440$

下の資料は、高校入学直前の模試（「三進連」は当時、メジャーな模擬試験でした。）の結果です。この模試で全体の正答率が7割程度というのは、公立中学の上位1割に入るくらいのレベルです。まあ、悪くはないが、特に良くもないって感じですね。この時期、数学はようやく平均レベルに追いつくことができました。青木塾では中1、中2の段階は英語と数学に特化した授業を行い、中3になると5教科全部を指導していますが、主要科目の英語がかなり上位であることがうかがえますね。

第 4 回進学学力テスト結果のお知らせ



■ 界 ■ 様

31030611

02594

久保	中学校氏名	■ 界 ■
----	-------	-------

三進連 (TEL 059-225-1355)

(A) 成績の変動状況

あなたが今までに受験した成績の変動です。
向上をめざして、今後も頑張ってください。

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回
総合得点	170		184	178		
T得点	60.9		62.3	63.1		
学力段階	4		4	4		

(B) 今回の教科別と総合の成績は、次の通りです。

項目	得点(50点)	県平均	T得点	学力段階のプロフィール					成績の順位		
				1	2	3	4	5	学校内	地区内	県内
国語	25	25.5	49.4						24	1031	3147
社会	43	20.6	71.5						1	28	103
数学	23	24.0	49.1						29	1066	3191
理科	41	23.9	66.2						2	75	248
英語	46	22.4	69.8						1	12	51
総合成績	178	116.4	63.1						3	191	641
				受験者数			52人	2004人	6193人		

彼はその後、見事、第1志望の伊勢高に合格したのですが、小学校時代の彼のことを知る近所のお母さん方の間では、伊勢高に合格したことが相当驚きをもって受け取られたと聞きました。何せ、彼は小学校時代とても腕白で勉強も得意ではなかったそうですから。

さて、次の資料は、彼が伊勢高校に合格して最初に受けた1学期中間テストの数学の結果です。数学Ⅰ①は平均レベルですが、数学Ⅰ②は学年318人中298番で、ほぼ最下位に近い成績でした。皆さん、よくご存じのように、これくらいの数学の成績で高校生活をスタートした子は、学年が上がるごとに数学が分からなくなり、最終的には受験に数学のない私立文系の大学に進むのが通例です。

実は、当時、こんなエピソードがありました。彼が余りにしつこく質問をするので、担当の数学の先生が「お前は数学が出来るようにはならない」と面と向かって言ったというのです。塾に来るなり私にそう訴えた彼に対し、「生徒にそんな暴言を吐く教師はクソ教師だ。お前は今まで通り自らを信じて徹底して努力を続ければそれで良い」と言い聞かせたことを今でもはっきり覚えています。

2007/7/12

1 学期中間	4 組	6 席	昇
--------	-----	-----	---

	現代文	古典	倫理	政経	数学Ⅰ①	数学Ⅰ②	理科総合A	生物Ⅰ	OCⅠ	英語Ⅰ	全教科
得点					67	27					
偏差値					49.0	31.7					
クラス順位					14	34					
学年順位					180	298	←特に②は最下位レベル				
受験人数					317	318					
クラス平均					58.8	47.4					
学年平均					68.7	57.8					

さて、いよいよ最後の資料ですが、ご覧のように高校最後の実力テストで彼はトンデモないことをやらかしました。何と苦手だったはずの数学で学年トップになったのです。学年平均が28.4点のテストで81点を取り、学年偏差値は何と驚異の81.2を取ったのです。アッパレという以外に表現のしようがありません。高1の時に暴言を吐いた数学の教師殿、どうです。思い知りましたか。人間の底力を甘く見ちゃいけません。

更に、これをご覧の皆さん、青木塾って本当に凄いでしょ。こんなこと、他の塾や学校では絶対に不可能だと思いますよ。

第 3 回実力テスト

3 年 2 組

2009/9/7

英語 数学 国語 物理 化学 生物 日本史 世界史 地理 倫理 政経

5教科 3教科

得点 偏差値 順位 受験人数

クラス平均 学年平均

教科 偏差値 順位

英語 数学 国語 理科 社会

偏差値分布図

英語 数学 社会 理科 国語

←伊勢高全体300人中トップ 偏差値80オーバー

申し遅れましたが、実は彼、某有名私大を卒業し、現在では誰もが知る企業で仕事をしています。嬉しいことに、卒業して何年も経つのに、いまだに時々顔を見せに来てくれます。まさに教師冥利に尽きますね。